



古志原小学校だより

えがおいっぱい

令和6年度No.4

5月23日

(文責 校長 小林 敏朗)

5月17日(金)には今年度初めての授業公開、そしてPTA 総会、学級懇談会も行いました。当日はお忙しい中、お出かけいただきありがとうございました。公開授業はいかがだったでしょうか?子どもたちが意欲的に取り組む姿、自分の考えを発表する姿、ノートに学習したことを記録する姿、頭をフル回転させて考えている表情などを見ていただけたことと思います。今年度も授業公開を設定していきます。ご都合のよいときに是非来校いただき、子どもたちの学習の様子やがんばりの成果などを見ていただくと喜びます。よろしくお願いします。

「聞く」「聴く」

学習を支える基盤の一つは、先生の話や友達の発表をよく聞くことと考えています。先生の話をよく聞くことで学習内容や活動の手順などがよくわかりますし、友達の発表を聞いて自分の考えと比較し更に深く考えることもできると思います。しっかりと聞くことにより、学びは積みあがっていきます。(もちろん、見ることも大事です。)

右の写真は、6年2組の算数の授業の様子です。友達の発表を耳だけでなく目や体を向けて聴く姿です。この場面だけでなく、発表者が変わるたびに、目や体を向けて聴こうとする姿が印象的でした。



「聴く」という文字には「耳」だけでなく「目」も「心」も入っています。いろいろな教科の学習や活動の中で、どの子も話をしっかりと聴くことができるようになってほしいと思います。また、話をきちんと聴くことは、話している人を大切にすることにもつながります。きちんと聴くことによって「あなたの話をきちんと聴いているよ」「しっかりと受け止めているよ」「あなたを大切にしているよ」というメッセージにもなり、それは人を大切にすることにもつながると考えています。これからも折に触れて「聴く」ことについての指導をしていきたいと思っています。

リレーカーニバルから…

5月10日(金)に、今年度で2回目のリレーカーニバルを行いました。昨年度は3年生以上で行いましたが、今年度からは全校で取り組みました。この日は、天候にも恵まれ、そして多くの保護者の皆様にも応援していただき、子どもたちも精いっぱいの全力疾走をしました。

このリレーカーニバルには大きく2つのねらいがあります。一つ目は、子どもたち全体の体力アップということです。保護者のみなさんもお存じのように昨年度から松江市連合体育大会が中止となりました。以前は、連合体育大会に向けての取り組みとして高学年を中心に一部の子どもたち(選手のみ)が放課後練習に組み、学校の代表として大会に出場していました。そこで、本校ではリレーカーニバルを開催することにより、本番を目指す中で体育の授業を充実させ、子どもたち全員の体力アップをねらいとして取り組みました。

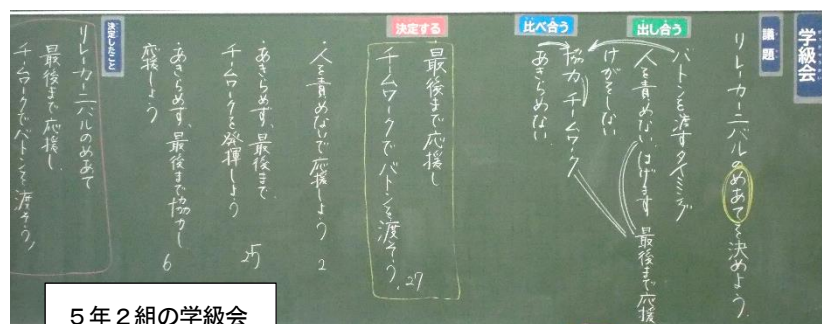
二つ目は、学級、学年の集団づくりということです。走ることを得意



としている子も苦手としている子もいるとは思いますが、得意、苦手もお互いに認め合いながら、時には助け合いながらリレーをします。リレーは一つのチームにならないといけません。そういう意味でも集団づくりとしてのリレーは有効と思っています。そして、走るだけでなく、リレーを通して友達、同じチームの仲間を応援するところも大きな魅力として取り組みました。



さて、このリレーカーニバルに向けて、4月の体育の学習では50m走やバトンパスの練習に取り組んできました。また学級会では、リレーカーニバルに向けての学級のめあてを話し合っている様子を多く目にしました。学級の中でどんなことをがんばるのか、それは走るだけでなく、応援や友達を支えることにも関わる意見が多く出ていました。リレーカーニバル本番のがんばりも大切ですが、本番までの過程で子どもたちがしっかり考えることが集団づくりにつながるとつくづく思いました。



そして本番。閉会式の話でも子どもたちに伝えましたが、どの子も一生懸命にがんばる姿はカッコいいです！すべての子どもたちから感動をもらいました。また、仲間を応援する姿、学級や学年など関係なく応援する古志原っ子は素敵でした！

最後になりましたが、保護者の皆様には多数お出かけいただき、そして声援を送っていただき、ありがとうございました。次は運動会です。また、あたたかいご声援をいただくと喜びます。

1年生の学校探検から…

5月10日（金）と13日（月）に1年生の学校探検を行いました。1年生は、少し（？）緊張した表情で校舎内を歩きました。この学校探検では、1年生を案内したりリードしたりするのは2年生の役割です。校長室にやってくると、2年生は1年生に「ここは校長室です。校長先生が仕事をする部屋です。」と説明しました。また、各場所には指令があり、校長室では「校長先生にお願いして、ソファに座らせてもらおう」という指令でした。どのチームも、2年生が1年生をしっかりとリードしていました。きっと事前に、2年生は1年生の気持ちになって考え、練習をしたのだと思います。2年生にとって、1年生のお兄さん、お姉さんになる自覚や1年生のことを考える他者意識を育てる大切な学びになったことと思います。



1年生を迎える会（ふれあい広場）から…

5月16日（木）3時間目に、1～6年生のふれあい班（縦割り班）で、1年生を迎える会を行いました。自己紹介から始まり、そのあとはフルーツバスケットなどゲームを楽しみました。その中で、6年生が1年生に寄り添ったり、困っていると声をかけたり、一緒に考えたりする姿が印象的で、6年生がとても頼もしく感じられました。これからの学校生活でも頼りになる最高学年であってほしいと思います。

